

## 医学部附属教育支援センター

## 1. 領域構成教職員・在職期間

|      |       |                                                                                          |
|------|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 准教授  | 坂井 豊彦 | 平成元年6月ー平成2年3月、平成8年4月ー平成12年9月、平成17年4月ー平成20年2月、平成20年3月ー平成25年3月、平成25年4月ー平成29年12月、平成30年1月ー現職 |
| 特命講師 | 銭丸 康夫 | 平成15年7月ー平成17年9月、平成23年8月ー平成30年3月、平成30年4月ー現職                                               |

## 2. 研究概要

## 研究概要

医学部附属教育支援センターでは、医学部教育委員会並びに関連する委員会、教育研究施設等と連携をとりつつ、主に以下の業務を行うとともに、学生・教職員に医学部の教育に関する情報を発信している。

- (1) 医学部・大学院医学系研究科に係る教育全般の点検・評価・改善に関する事項
- (2) 医学・看護学教育における新たな教育方法の開発・導入に関する事項
- (3) 田口活動に関する事項
- (4) 教育に係るデータベースの構築・管理・情報の提供に関する事項
- (5) 医学・看護学教育に係る研究活動に関する事項
- (6) その他、医学部における教育に係る諸問題への対応に関する事項

医学部附属教育支援センターでは、さらに、医学・看護学教育における『教育目的・人材育成目標』を踏まえ、医学部における教育支援を行っている。

- (1) カリキュラムの見直し、改善
- (2) F D の企画・実施
- (3) 教育支援センター運営委員会の開催
- (4) 医学部医学科教育主任会、看護学科教育主任会の運営
- (5) 教育 I R 活動：医学部（大学院含む）の教育に関する情報収集、調査、分析を行い、教育、学生支援に資するとともに、全学「I R センター」と協働し、各種調査、情報分析を行い、大学の運営に必要な情報を提供する。

## キーワード

医学教育、看護学教育

## 特色等

- (1) 医学部の教育PDCAサイクルの中核機関であること。
- (2) 医学部の教育の内部質保証に資する機関であること。
- (3) 医学・看護学教育の教育プログラム評価・改善に関する機関であること。
- (4) 医学・看護学教育における適切な教育プログラムの開発や、ICTを用いた学習方法の開発、学生の修学に関する研究を行う機関であること。
- (5) 医学部の学生・教育に関する情報を一括管理・分析する機関であること。

## 本学の理念との関係

医学部附属教育支援センターは、医学部の教育PDCAサイクルの中核機関として、主にPDCAのC（評価）を担うことにより、医学部教育内部質保証に資する活動を行う。これは、本学の教育の理念及び中期目標・中期計画に掲げる教育に関する重点事項と合致するものである。

## 3. 研究実績

| 区分     |               | 編数     | インパクトファクター（うち原著のみ） |
|--------|---------------|--------|--------------------|
|        |               | 2018年分 | 2018年分             |
| 和文原著論文 | ファーストオーサー     | 0      | —                  |
|        | コレスポンディングオーサー | 0      | 0 (0)              |
|        | その他           | 0      | 0 (0)              |
|        | 合計            | 0      | 0 (0)              |

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 原著論文（総説）

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (4) 和文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 総説

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

## (2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

18506001

豊岡麻里子、木村浩彦、坂井豊彦、上坂秀樹、田中雅人、安倍博、大垣 多徳、山下芳範：画像医学教育における症例教育システムとWeb Classを連携したアクティブラーニングの試み、第50回日本医学教育学会、東京都文京区、20180803

18506002

坂井豊彦、田中雅人、安倍博、上坂秀樹、木村浩彦、内木宏延：臨床実習学修管理システム（Bed Side-Learning Management System）を用いた臨床実習における学生評価、第50回日本医学教育学会、東京都文京区、20180803

d. 一般講演（ポスター）

18506101

坂井豊彦、銭丸康夫、上坂秀樹、田中雅人、安倍博、木村浩彦、廣田龍彰、松尾あずさ、北林美津子、百田辰之、窪田真由美、内木宏延：臨床実習への ICT システム [CESS] 導入効果、第50回日本医学教育学会、東京都文京区、20180803

e. 一般講演

f. その他

## (3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

## (4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

18506102

木下一之、高田健次、若林佑、坂井豊彦、木村浩彦、根本朋幸、中本安成：経静脈的肝生検後に肝内出血をきたした一例、第65回中部IVR研究会、名古屋市、20190216

18506103

若林佑、高田健次、木下一之、坂井豊彦、木村浩彦：脾仮性嚢胞術後の動静脈ろうが原因と考えられる動脈瘤の一例、第64回中部IVR研究会、名古屋市、20180707

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

## (C) 特許等

| 区分 | 内容（発明の名称） | 発明者又は考案者 |
|----|-----------|----------|
|----|-----------|----------|

## (D) その他業績

## 4. グラント取得

## (A) 科研費・研究助成金等

| 区分 | プロジェクト名 | 研究課題名 | 代表者名 | 分担者名 | 期間（年度） | 金額（配分額） |
|----|---------|-------|------|------|--------|---------|
| 区分 | 研究種目    | 課題名   | 代表者名 | 分担者名 | 期間（年度） | 金額（配分額） |

## (B) 奨学寄附金

|      |   |
|------|---|
| 受入件数 | 0 |
| 受入金額 | 0 |

## 5. その他の研究関連活動

## (A) 学会開催等

| 区分 | 主催・共催の別 | 学会名 | 開催日 | 開催地 |
|----|---------|-----|-----|-----|
|----|---------|-----|-----|-----|

## (B) 学会の実績

| 学会の名称 | 役職 | 氏名 |
|-------|----|----|
|-------|----|----|

## (C) 座長

| 国内学会 | 学会名 | 氏名 |
|------|-----|----|
|------|-----|----|

## (D) 学術雑誌等の編集

| 学術雑誌等の名称 | 委員長（主査）・委員 | 氏名 |
|----------|------------|----|
|----------|------------|----|